

【開講日】平成29年12月5日（火）

あき 三鷹サテライト教室

文化

三鷹

292074e

【連続講座】史料から日本の歴史を考える 第四弾

戦国時代の女性の文書を読む

受講料 (振込額)	1,500円 ※【連続講座】「史料から日本の歴史を考える 第四弾」全7講座お申込みの場合9,000円				
必携テキスト	――				
講座概要	曜日	火曜日		日程	
	時間	15:00～16:30			
	回数	全1回	定員		50名
	開講場所	三鷹サテライト教室 7F大教室			
講師	慶應義塾大学非常勤講師 丸島 和洋 （まるしま かずひろ）				
	1977年大阪府生まれ、東京都調布市育ち。慶應義塾大学大学院文学研究科後期博士課程単位取得退学。博士(史学、慶應義塾大学)。 国文学研究資料館研究部特任助教などを経て現職。2016年度大河ドラマ「真田丸」時代考証。専門は日本中世史。主な著書に『戦国大名武田氏の権力構造』（思文閣出版、2011年）、『戦国大名の「外交」』（講談社選書メチエ、2013年）、『郡内小山田氏―武田二十四将の系譜―』（戎光祥出版、2013年）、『図説 真田一族』（同前、2015年）、『真田四代と信繁』（平凡社新書、2015年）、『真田一族と家臣団のすべて』（KADOKAWA新人物文庫、2016年）、『戦国大名武田氏の家臣団―信玄・勝頼を支えた家臣たち―』（教育評論社、2016年）、『真田信繁の書状を読む』（星海社新書、2016年）、『シリーズ中世から近世へ 武田勝頼』（平凡社、2017年）ほか。				
内容	中世武家社会においては、女性が文書を発給することがありました。その多くは寺社への祈願文や私信ですが、大名家の当主代行として文書を出す場合があります。それは、夫の死後、跡継ぎとなる男子が不在であったり、幼少であったりした場合に家督を代行してのものでした。「女戦国大名」と呼ばれた今川氏親夫人寿桂尼などが、その代表格です。この講座では、戦国大名家・国衆家の女性が出した文書を読むことで、戦国時代の女性の地位について考えてみたいと思います。				

世界の幸せをカタチにする。
Creating Peace & Happiness for the World



武蔵野大学

お問い合わせ TEL 042-468-3222
FAX 042-468-3211

開室日：月～金曜日 9:30～18:00
：土曜日 9:30～15:30（祝日を除く）

武蔵野大学 社会連携センター

〒202-8585 西東京市新町1-1-20
www.musashino-u.ac.jp

武蔵野大学 三鷹サテライト教室 平成28年3月より南口に移転



JR三鷹駅 南口より徒歩1分

三鷹三菱ビル 6・7F
(三菱東京UFJ銀行のビル)

1階入口からお入りください。

- ・ 教室は講座の15分前よりお入りいただけます。
(前の時間に講座がある場合は教室の準備ができるまでお待ちいただくことがあります)
- ・ 教室前の机にある出席簿に○をつけてから教室にお入りください。
- ・ 生涯学習講座登録証を携帯してください。
- ・ 欠席の連絡は必要ありません。
- ・ 駐輪場、駐車場はありませんのでご了承ください。